

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP)

for Promoting International Education

「ぼくたち，わたしたちの町“ハートフルいむれ”」

～大好き飯村，みんなの飯村，守ろう飯村～

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では、隣接する「飯村公園」をはじめ校区にあるいくつもの公園や店などの施設の見学、校区のお年寄りとの交流、サツマイモ（飯村のイモ）づくりや岩屋緑地の自然を守るなど特色ある取り組みをされている方たちとの交流をとおして、地域に愛着をもつ子、地域を大切にする子の育成を旨とした教育活動を実践してきた。

特に、平成 23 年度に豊橋市教育委員会を介して東日本大震災の被災地に送った絵封筒のお礼の手紙を被災者の方から直接受け取ってからは、5 年生を中心に防災への関心が高まった。平成 24 年度は、地域の方と行った校区合同防災訓練の中で、6 年生は「自分の命は、自分で守る」から「自分たちの校区の安全は、自分たちで守ろう」と思いを強め、総合的な学習で調べたことを地域の方たちに発信することができた。

このことを「持続可能な開発のための教育」(E S D)の推進に結びつけていくために、これまでの各学年の教育課程を見直し、生活科・総合的な学習の時間を中心に児童会活動や校区への情報発信活動も関連づけた実践を進めていくことにした。この実践を継続的に行うことで、将来にわたって地域のよさに気づき、地域の誇りと地域への愛着を育んでいくことができると考えている。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、E S Dへの取り組みの入り口を、環境保全・防災の立場からとしたい。本校の児童は、生活科や社会科、理科、総合的な学習の時間などで地域の自然や施設・人とかかわる学習を進めてきた。学校創立以来、校区内にある「岩屋緑地の自然に親しむ会」の方たちをゲストティチャーとして岩屋緑地の自然を調べたり、守る活動に参加したりする学習にも取り組んできた。また、平成 22 年度から 3 年間、市の研究委嘱「道徳教育」を受け、道徳の時間を要として授業を実践してきた。自然・社会・生活・生き方などについて考えを深める教科学習において道徳的心情を高め、技能教科や総合的な学習の時間での体験活動において道徳的实践を行ってきた。その中で、少しずつ子どもたちは、気づき・考え・行動することができるようになった。平成 24 年度、初めて行った校区合同防災訓練の中で、6 年生は防災について調べたことをもとに「校区の安全は自分たちで守ろう」と校区へ発信した。「地域の自然のすばらしさ」や「地域の人の思い」に気づき、「自然を大切にしよう」「思いやりの心で接しよう」「校区の安全は、自分たちで守ろう」と、考え、行動する飯村っ子が育ちつつある。さらに、創立 30 周年を過ぎ、親子二代が飯村小学校で小学生時代を過ごすことになる家族が増えてきたため、「地域に密着した学校」という

意識が強くなってきた。そこで、飯村校区に住んでいることを誇りに思い、家族みんなで飯村校区を守っていくという意識を高めていくことも目的のひとつにしたい。

そのために本校では、以下の3つの活動で次のような目標を掲げる。

(1) 「岩屋緑地」の環境保全をする活動

- ・ 岩屋緑地の自然に親しむ会の方たちと行う「自然観察会」
- ・ 岩屋緑地の生態系の観察と地域への情報発信

校区の「岩屋緑地に親しむ会」の方たちと岩屋緑地の自然観察を継続的に実施することで、環境保全への注意を喚起し、地域に向かって地域のよさや環境美化の意識を発信する。

(2) 全校活動「530 運動」・地域連携を密にする活動「スーパークリーン大作戦」

- ・ 環境美化への意識の向上を目指す。
- ・ 地域を巻き込んで実施することで、地域の中の学校といった意識の向上を図る。また、地域ボランティアの参加、児童の地域ボランティア活動をとおして、それぞれの地域との連携を図る。

(3) 学校行事や地域が主催する行事などに関連づけた活動

児童、保護者、教職員、地域住民が一体となって活動したり、成果を発表する機会をもったりすることで地域の誇りや地域への愛着心を育み、人とのかかわりやつながりを重視していく姿勢を養う。

Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

本校では、前述の目的のとおり ESD への取り組みは環境保全・防災から進めていく。その学習を深めていくことで、人格の発達や自律心、判断力、責任感などの人間性を育むことや他人とのかかわりやつながりを尊重できる個人を育むことができ、持続可能な社会をつくる担い手を育てることになると考える。

(1) 「岩屋緑地」に親しむ・環境保全をする活動

- ・ 1年, 2年: 木の実拾い
- ・ 3年, 5年: 校区探検
- ・ 4年 : 「岩屋緑地の自然に親しもう」(岩屋緑地の自然に親しむ会の方たちと交流) 自然観察会に参加。環境保全活動の様子を見学したり参加したりする。

○各学年と地域とのかかわり

- ・ 1年, 2年: 地域の公園探検や町探検
(地域の人, 老人会や福祉施設のお年寄り, 保育園児との交流)
- ・ 3年: 校区探検(校区の人と交流)
「飯村のイモは, おいしいよ」(地域の特産であるサツマイモ作りの名人と交流)
- ・ 5年: 「ふれあいネットワーク飯村」(校区の人と交流)
校区の歴史や校区の中のバリアフリーなどを調査
- ・ 6年: 「わたしたちの安全は, わたしたちで守る〜わが家の防災〜」
家庭の防災を考え, 地域へ発信(豊橋市防災危機管理課, 自治会, 校区の人と交流)

(2) 全校活動「530 運動」・地域連携を密にする活動「スーパークリーン大作戦」

- ・ ぴかぴか委員会が中心になって行う「530 運動」。年 2 回 1・6 年，2・5 年，3・4 年のペア学年で，学校の近くの公園や校内の毎日清掃しにくい場所を清掃し，環境保全に努める。
- ・ 同じ校区に住む児童生徒・保護者・住人・小中学校教職員が協力して美化活動に取り組む年 1 回の「スーパークリーン大作戦」。

(3) 学校行事や地域が主催する行事などに関連づけた活動

運動会，学芸会，夏休み作品展，授業参観（年 4 回），老人会との交流，地域の福祉施設との交流，校区主催の校区合同防災訓練，豊橋市主催「さくらまつり」（岩屋緑地の植樹祭）

○活動を進めるための ESD アクティビティプログラム（4 年生の例）

教科領域	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
社会		ごみの処理と利用	水はどこから								
理科	季節と生物		季節と生物		季節と生物			季節と生物			
総合	← 岩屋緑地の自然に親しもう →										
道徳		みんなで仲よくしよう	大切な環境	自然を守ろう			ふるさとのために		日本のよさ	社会のためになることを	
行事			530 運動 わくわく体験活動			530 運動	スーパークリーン大作戦 校区合同防災訓練	スーパークリーン大作戦			

(1) 「岩屋緑地」に親しむ・環境保全をする活動：4 年総合「岩屋緑地の自然に親しもう」



← 樹木にラップを
まいて害虫駆除

サクラの木に
肥料を与える→



(2) 全校活動「530 運動」・地域連携を密にする活動「スーパークリーン大作戦」



← 「530 運動」
3・4 年のペア
学年で近くの
公園を清掃



中学生，保護者・校区の人と清掃「スーパークリーン大作戦」

(3) 学校行事や地域が主催する行事などに関連づけた活動



← 校区合同防災訓練で「家庭も防災の備えを」と呼びかける 6 年生





市主催の「さくらまつり」
自治会長さんと岩屋緑地に
サクラの木の植樹をする
4年生



Type of materials to be used (使用する教材)

「かがやくとよはし」平成 23 年 4 月 1 日発行 編集：豊橋市立小学校社会科副読本研修委員会
発行：豊橋市教育委員会 印刷：株式会社アプライズ

「たのしい理科」大日本図書

「明るい心」 昭和 33 年度創刊 平成 21 年度改訂 編集：愛知県小中学校校長会
発行：愛知県教育振興会

「小学校キャリア教育の手引き」 文部科学省 平成 23 年 5 月 (WEB 版)
キャリア教育推進の手引き「小中学校 9 年間を見通したキャリア教育」

愛知県教育委員会義務教育課 (WEB 版)

「キャリア教育ノート」夢を見つけ夢をかなえる航海ノート 愛知県教育委員会 (WEB 版)

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

指導教諭は、ふだんの生活の中でも児童の態度・姿勢を観察し、プロジェクトの後には振り返りカードへの記述によって評価する。

それとともに以下のような評価方法をとる。

- ・ 児童のさまざまな活動への成果を、事後のまとめや感想などから把握する。
- ・ 学習活動のまとめとしての授業公開や夏休み作品展、行事（学芸会）等での成果の発表、地域への発信をとおして、関心・意欲・態度等を観察し、評価する。

上記の評価とともに、学校評議員を通じた地域からの評価や、行事・保護者会後のアンケート調査、年 2 回の全保護者を対象としたアンケート調査等から、ESD アクティビティプログラムの見直しを図り、地域とともに生きる飯村っ子を育成するための活動内容を改善していく。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職) Principal

Institution's name (学校名)

Imure Elementary School

